

韓国で中東呼吸器症候群が (MERS) 発生しています！

中東呼吸器症候群 (MERS) とは、新しい種類のコロナウイルスによる感染症です。感染すると高熱、咳、息切れ、呼吸困難などインフルエンザのような症状がでます。また下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。

潜伏期間は2～14日とされています。



現在、旅行は制限されていませんが、旅行する場合は以下のことに注意して下さい。

旅行前：渡航前に現地の最新の情報を検疫所ホームページ、外務省 海外安全ホームページ、在外日本国大使館ホームページなどで確認してください。

旅行中：現地では、マスクの着用、こまめに手を洗う、加熱が不十分な食品や不衛生な状況で調理された料理をさけるなど一般的な衛生対策を心がけてください。

咳やくしゃみの症状がある人や、動物（ラクダを含む）との接触は可能な限り避けましょう。

旅行後：帰国時に発熱や咳等の症状がある方は、空港内等の検疫所へご相談ください。

帰国後 14 日以内に、発熱や咳などの症状がみられたら、直接医療機関には行かずに、電話で保健管理センターか、盛岡保健所に連絡し、MERS 発生地域に滞在していたことを告げてください。

症状がある間は他者との接触を最小限にするとともに、咳エチケットを実行してください。

《参考ホームページ》

- 厚生労働省検疫所ホームページ <中東呼吸器症候群に関する注意>

<http://www.forth.go.jp/news/2014/05071434.html>

- 外務省 海外安全ホームページ 広域情報 <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

- 在サウジアラビア日本国大使館ホームページ

<http://www.ksa.emb-japan.go.jp/j/index.htm>